

聖籠町総合計画審議会 第3部会（行財政）

第1回議事要旨

日 時	令和7年9月17日（水） 14時00分～15時10分
場 所	聖籠町役場1階会議室
出席委員	渡邊委員（部会長）、鷺見会長、堀委員
事務局	小林総務課長補佐、鈴木総務課長補佐、足立税務課長補佐、渡邊総合政策課長補佐、高橋主事
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 部会長 あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 素案の検討（第5章132ページ～141ページ）</p> <p>① 資料No. 1 第5章 I 多様な人々がつながり、誰もが活躍できる地域づくり（P132～P137）</p> <p>② 資料 No.2 第5章 II 将来を見据えた持続可能な行財政運営（P138～P141）</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 第2回第3部会の日程について</p> <p>5 閉 会</p>
要 旨 (検討内容)	<p><b>3 議事(1)①～②</b></p> <p>○事務局から第5章「I 多様な人々がつながり、誰もが活躍できる地域づくり（P132～P137）」、「II 持続可能な行財政運営（P138～P141）」について説明 （説明者：小林総務課長補佐、渡邊総合政策課長補佐）</p> <p>～説明後の検討意見～</p> <p>○【第5章「I 多様な人々がつながり、誰もが活躍できる地域づくり」】</p> <p>『1 町民参画と協働』</p> <p>&lt;町公式 SNS アカウムのフォロワー数について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS アカウムのフォロワー数の目標値（1,500人）について、どのような考え方で設定したか。</li> </ul> <p>⇒町として SNS の運用を行ってきたが、今後大きく増やすことは難しいと考えている。その中でも投稿をブラッシュアップし、上向きにしていける必要はあるため、現状値をもとに設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の投稿は、かなり真面目な情報を発信している。総合戦略でも SNS の重要性について議論されたが、幅広い方にフォローしてもらえるような取組を行う必要があるのでは。</li> </ul> <p>&lt;地域づくり活動団体数について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化は進み、地域づくり活動団体が増加する社会ではないと考えているが、足元では増加している。どの分野の団体が増加し、活動の変化があるか。今後はどの分野の団体が増えることを期待しているか。</li> </ul> <p>⇒ふるさと整備課主管の環境美化団体が増加し、協力する東港立地企業も増えたため、全体の団体数が増加した。老人クラブは減少しているが、地域のお茶の間への移行により増</p>

加した。今後は介護予防として体操教室の増加が見込まれるため、増加目標を設定した。

・目指す分野の団体は順調に増えているか。それとも増加していないため、別の分野の団体を増やす必要があるのか。

⇒地域のつながりの基盤が弱体化している中、地域活動を絶やさず続けられるようにしていきたい。その中でも増加傾向にある団体を増やしていきたい。

・集落で行事を行うにあたり、中間層がないことが課題と考えている。老人は老人クラブや集会所を使い、積極的に取り組んでいるが、子どもは仕方なく携わっていることが多い。若者を引っ張り、若者と老人を繋げる中間層が必要ではないか。時間的余裕がない人が多いことも承知しているが、新たに団体を作るまでもなく、そういう人を呼び込める取組はできないか。指標を実現するため具体的な政策をどうするのか考える必要がある。

<情報公開の推進について>

・前期基本計画の5年で何が進展し、できていないところを課題として挙げてもらいたい。足りない部分はどこで、今後どのように取り組んでいくか。

要 旨  
(検討内容)

⇒令和7年2月にホームページが変わり、各課が直接掲載し、情報を流しやすくなった一方、担当者の裁量により、ホームページへ掲載するかどうかが決められている。町民が求める情報は何かということも含め、掲載ルールを検討しているところであり、本計画にも具体的に文言を落とし込めるかどうか検討したい。

・Xを活用し、町民がどういった情報を求めているか拾い上げることも可能では。

## 『2 人権が尊重され誰もが活躍できる地域社会』

<県認定制度について>

・ハッピーパートナー制度から県認定制度に移行しどう変わるのか。目標値の根拠は。

⇒元々の制度は男女共同参画に特化していたのに対し、県認定制度は働き方にもフォーカスし、企業の申請ハードルも上がるようである。認証を目指す企業は意識が高いと考えられ、これまでと同様に企業が認証を目指すが見込み、目標値を20社と設定した。

<人権意識の向上について>

・人権意識について2030年目標値を70%とした根拠は。

⇒前回の調査から下がったが、目標値は70%と前期基本計画のまま据え置き、達成に取り組むこととした。具体的な取組として、年に数回研修や講演会を実施している。

<外国人住民との共生について>

・年々、外国人は増加しているが、町内会としては言葉が通じないため何もできない。雇い主である企業が間に入っているため、通常時はやり取りできるが、災害時に企業と連絡がつかないときにはコミュニケーションをとれない。計画では、「緊急時のルールを理解してもらうための取組」と記載されているが、町として具体的にどのような取り組みを行うのか。

・この5年間の進捗と、どのような課題があり、今後何に取り組んでいくのか不明。具体的な施策を行うのか考え、加筆する方向で検討いただきたい。

<女性委員の登用率について>

- ・目標値は32.7%と据え置きとなっているが、その根拠は？

⇒委員会によっては女性が集まりづらいものもあり、32.7%を上回る目標を設定するのも難しいことから据え置きとした。32.7%は男女共同参画計画から引用した値だと思われるが、その根拠について確認する。

## ○【第5章「Ⅱ 将来を見据えた持続可能な行財政運営」】

<指定管理者制度について>

- ・前期基本計画策定時と記載が同じだが、今後、具体的に取組を変える予定はあるか。現在は全く行っていないのか、民間に声をかけているものの前に進んでないのか。

⇒確認し、場合によっては表現を改める方向としたい。

<実質公債費比率について>

- ・総務省の財政状況資料集によれば、道路や体育館の老朽化が著しいとある。実質公債費比率を算出するにあたり、公共施設の更新を考慮しているか。

⇒使用していない施設以外の施設の改修については、公共施設総合管理計画に基づき、毎年度実施する分の試算を見込んだうえで、実質公債費比率を算出している。

- ・公共施設総合管理計画の試算は、積み上げでなく平準化した金額になっているのでは。⇒各施設の耐用年数から標準的な長寿命化に係る費用として、平米あたりどのくらいかかるかという試算を積み上げたもの。現状、それぞれの施設がどの状態にあり、どこを修繕し、いくらになるかを積み上げたものではない。

<人材育成と組織力の向上について>

- ・「実効性の高い人材を育成します」という表現は分かりにくいいため、修正したほうがよいのでは。

<第3セクターの健全運営について>

- ・地場物産館は債務超過にあると認識しているが、今後も経常的に赤字が続いているのか、それともコロナ禍によるものか。必要な支援をしていくとなると、町からの財政支援も行うこととなると思うので、財政の硬直化にも関わる問題である。

⇒昔から赤字体質にあり、施設の老朽化もあるが、経営をどのように改善していくか、町でコンサルを入れて、あり方検討を行っている。そのため、指導ではなく、必要な支援という関与を強めた表現に書き換えた。具体的な数値のシミュレーションはできていないが、建物自体が古くなり中に入りづらいことや、更地にして新たに建物を建てることで集客を図れるのではという話も出ている。

- ・債務超過となった問題は何かということ突き詰めたうえで、今後を見越し、赤字解消に向けた取組について検討いただきたい。

以上（次回は10月22日開催予定）

要 旨  
(検討内容)